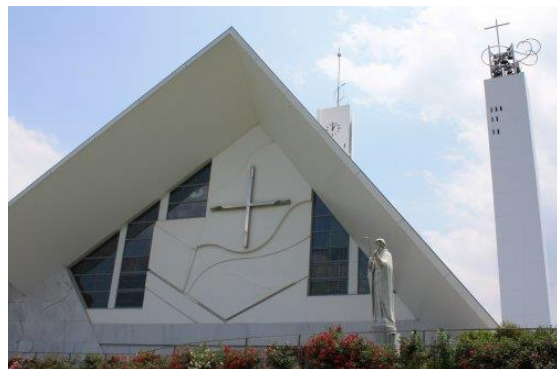


山口カトリック教会報

サビエルの鐘

第38号



今年こそ復活の喜びを

ルイス・カンガス神父



今年は、コロナ禍によってイエス様がもたらしたご復活の喜びを深く味わい、皆さんと共に分かち合うことが難しい状況にあり、寂しさや苦しみを与えています。そして、多くの苦しみの中にある方々は、イエス様がもたらしてくださる喜びの癒しを必要としていることでしょう。私たちは、昨年顔の半分をマスクで覆うことや人との距離を保たなければならないことなどで喜びの思いをストレートに伝えることが難しいと感じています。それでは一体どうすればよいのでしょうか？私は、二つのことを考えてみました。

一つは、このような状況を与えられた時間の中でこそ祈りをもって復活なされたイエス様の喜ばしさを味わい、イエス様が40日の間私たちになされた現れ、空の墓の前でのできごと、エマオへの道で二人の弟子

たちに話しかけたことなどをゆっくりと黙想し、心の中でイエス様と共に味わってご自身の心を癒したらいかがでしょうか。もう一つは、いろいろな限界の中で、心で感じたことを表すことができるのは、笑顔です。特に目は素直に感情を伝えます。マスクがあっても言葉を話さなくても心の喜びは、目から溢れてきます。今年こそ、イエス様のご復活、出会いの喜びを目の微笑みで伝えましょう。その目の微笑みこそがイエス様がもたらしてくださる恵みの癒しとなるでしょう。

ここに「ほほえみの価値」という John Faber 神父が書いた詩がありますので、紹介しましょう。この詩を読み味わい、皆さんと共に分かち合ってください。ここに掲載する訳は、もともとの日本語訳を少しアレンジしてありますが、もっとやさしく私たちに語りかけています。

ほほえみの価値 (ジョン・フェーバー神父)

ほほえみは皆の心をしあわせにする。
 ほほ笑まれた人は満ち足りた気持ちになり、
 ほほ笑んだ人の気持ちは乏しくなることはない。
 ほほえみは一瞬であっても、その記憶は永く心に残る。
 どんなに富があってもほほえみが無ければ虚しく、
 貧しくてもほほえみがあれば豊かな日々を過ごせる。
 ほほえみは家庭に喜びを、社会に支え合う気持ちをもたらし、友情を育む。
 ほほえみは疲れた人を慰め、失意にある人たちに立ち上がる勇気を与え、悲しみのうちにある人の心の拠り所になる。
 もしほほえみを忘れてしまった人に出会ったら、
 あなたの方からほほえもう。
 ほほえみを忘れた人にこそ、
 ほほえみは必要なのだから。

THE VALUE OF A SMILE (by Fr. John Faber)

Giving a smile makes the heart happy.
 It enriches those who receive it without impoverishing who those give it.
 It lasts but a moment, but the memory of it can long endure.
 None are so rich they can get along without it, and none so poor but cannot give it.
 It creates joy in the home, lends support at work, and is a tangible sign of friendship.
 It gives comfort to the weary, renews courage in trials, and works as medicine for sadness.
 And if you meet with someone who does not offer you a smile, generously offer one of your own.
 None are in such need of a smile as those who do not give one.

マリア・アンジェリーナ

シュツビア厚子



受洗おめでとうございます

約1年半前に聖堂で主人の葬儀をして頂きました。昨日のようです。以前よりも私も洗礼を受けたいと強く思うようになり、この度ついにその恵みを頂くことになりました。ご指導下さったカンガス神父様を始め、勉強を教えて下さった

方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございます。
 皆様これからどうぞよろしく願いいたします。



主とともに歩く

横田 蔵人



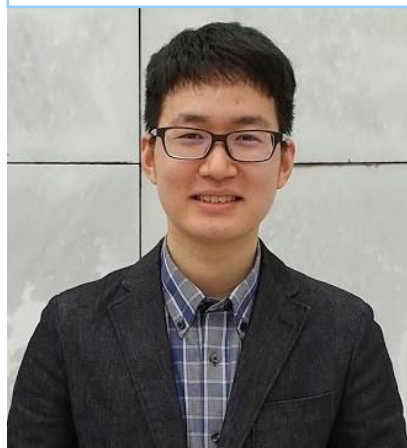
教会で御ミサの侍者をさせていただき、ご聖体拝領の列に向かう皆様の前に立つとき、目をどちらに向けてよいものかといつも迷っています。皆様が一人一人神様とお話しをされる尊い時間ですから、なるだけ邪魔にならないようにと、思い、足もとなどを見るようにしています。人と対するときふつうは相手の顔を見ます。相手の顔を見るといろいろなことが気にかかる。例えば「顔色をうかがう」とか「顔を立てる」とか。思惑なしにただありのままの相手を見る、ということはありません。ところが、足を見ていると、その人の地位や肩書き、美醜、長短、職業や年齢、この世の区別は次第に消えてゆき、あとにはただ人間が残ります。そこにあるのは、神さまに「はい」と答えて歩み出る一人一人の足です。大きい人も小さい人も、この足はこの人の人生を支えて歩んできたのだなと思うと、ふと涙が出そうになります。思えば二本の足で歩くということは、なかなかたいへんなことでもあります。前に進もうとすると体はゆらぎ、よろめいて姿勢は崩れ、前のめりに倒れきってしまいそうになる刹那、逆の足が前に出る。すると、ひょい、とうまいぐあいに前に進みます。歩くということはこの繰り返し。絶え間なく転び、そのたびに起きあがる。それは小さな死と復活です。新約聖書は「復活」という意味をあらわすために「立ち上がる」という言葉と「起き上がらせる」という言葉を用いています。父なる神さまがイエスを「起き上がらせた。」そうしてイエスは死から「立ち上がった。」主の復活の生命を生きる時、私たちはいつも主に支えられて立つ。主が私たちを支えてくださるから倒れても立ち上がる。二本の足で歩む人間の姿は、主の復活の姿です。「キリストは死からの復活によって罪を打ち破り、倒れていた世界を立て直し、新しいのちをわたしたちにお与えになります。」(復活節の叙唱から) ご復活、おめでとうございます。



いつも侍者を

して下さったフィーさん

下関へ



皆さんこんにちは。私はブイ クアン フィーです。2019年4月24日に初めて日本に来ました。もうすぐ2年になります。今月10日に日本語学校を卒業し、神父様や皆さんのお祈りのおかげで下関の梅光学院大学に合格することができました。20日に下関に引っ越して、今度は細江教会に通うことになります。サビエル教会に来はじめて、神父様たちや皆さんにも信頼を受け、侍者や朗読をさせていただいたり、いい環境を与えてくださり感謝いたします。皆さんに会わせてくれたイエス様の恵みに感謝します。たくさんの思い出を作ることができ、本当に嬉しかったです。最後に、神父様たちと皆さんに健康や恵みが与えられますようお祈り申し上げます。いつかサビエル教会に戻って皆様と一緒にミサを受けることが出来たらいいな。どうかこれからも私にお祈りしてください。

2月28日、堅信式が行われました



今回、堅信の秘跡を授かった10人の皆さん（前列）

「堅信の秘跡を授かる前の勉強会が始まるよ」と父に言われたのは昨年末のことでした。教会の友たちと受けた勉強会では知らないことをたくさん教わり、私が今までいかに受動的な信者だったのかを知ることができました。そして、今よりもっと神様のことに触れたいと思うようになりました。勉強会を終え、迎えた堅信式では司教様からいくつかの質問をされました。「はい、信じます」と答える度に身が引き締まり、背筋が伸びていくように感じました。堅信を受け神様のことをより深く知ること、より一層信仰を強くし、自分の言動をもって神様のことを伝えられるような信者になろうと思います。（マリア・ルチア 久保黛子）

私は、2021年2月28日に白浜司教様より堅信の秘跡を授かることができました。私は小さい頃から、教会に通っていましたが、中学生になって特に、昨年の1年間は新型コロナウイルスの影響もあり、あまり教会に行くことができていませんでした。そんな私ですが堅信の勉強会を通して、自分の信仰と向き合うことができたと思います。まだまだ学ばなければいけないことが多くありますが、堅信式で皆様祝福していただいたことを忘れず頑張りたいと思います。

（被昇天のマリア 増田すぐり）

行事予定

4月29日 記念聖堂献堂記念ミサ 9時30分～

編集後記

四旬節には、麴町教会に行かれたKさんが黙想のカードを毎日送ってくださった。おかげで怠け者の私が凶らずも毎日（短くとも）黙想の時間を持つことができてとても感謝している。この身にいただいている恵みの大きさに気づいてジーンとする日もあった。神さまは私たちが喜んで生きていることを喜んでくださるけれど、その神さまに出会えたことが人生一番の喜びなのだと思っている。主のご復活おめでとうございます。（首藤）

発行 山口カトリック教会
発行責任 主任司祭 百瀬 文晃
編集責任 山口カトリック教会 広報部

〒753-0089 山口市亀山4-1
tel. 083-920-1549
hp検索 山口カトリック教会
e-mail xavier@xavier.jp

2021年 4月 4日発行